

【45用語】

接木（つぎき）…植物の芽や葉を切り取り、他の茎などに接ぐこと

約定（やくじょう）…契約して定めること、契約、約束

駄賃（だちん）…牛馬等による運送料

支弁（しべん）…金銭の支払い

件々（けんけん）…かの件この件、条々

違変（いへん）…契約を違えること、違反

【45解説】

群馬県北西部の吾妻地域では江戸時代中期以降、農家の副業として養蚕が行われ、幕末の横浜開港を契機に明治期に入ってから生糸の生産がさかんであったことが地域の古文書等からうかがうことができる。

本文書を伝える吾妻郡岩井村（現、東吾妻町）の伊能家は、農業の傍ら養蚕を営んでいたため、近世後期から明治期の養蚕経営に関わる記録・日記等が残されている。一般に桑は接ぎ木で繁殖させたため、各地域ごとに特有の品種が育成されたといわれ、本文書は明治二十二年（一八八九）の桑木取引に関する約定書（売買内金の領収）である。

なお、明治期の伊能家では桑の根付き苗木や接ぎ木を高崎柳川町から購入する一方で、蚕種は福島県伊達郡梁川町（現、伊達市）から購入し、さらに養蚕奉公人も雇っていたようである。